## トキワシダ

Asplenium yoshinagae Makino

選定理由 自然度の高い林内に生育し,岩上や樹幹に着生する。県内では生育地

も少なく,個体数も多くない。自然林の伐採などによる生育地の減少

が懸念される。

県内分布 津江山地,祖母·傾山地,北川上流域

チャセンシダ科 Aspleniaceae

分布域 本州(関東地方·東海地方·紀伊半島),四国,九州(福岡·熊本·大分·宮崎·

鹿児島)

台湾,中国,ヒマラヤ

カテゴリー

大分県 II 環境庁 掲載なし 生育環境 | 丘陵地や低山地の空中湿度の高い林内の岩上や樹幹。

現 生育地は県内数か所に点在し,個体数も減少傾向にある。

カミガモシダ

Asplenium oligophlebium Baker

選定理由 京都府や兵庫県ではやや普通に分布するが、それ以外の地域では希で

ある。本県では国東半島のプロピライト(変巧安山岩)地域に分布して おり、道路工事などが行われれば消滅してしまう可能性が大きい。

県内分布 国東地区

チャセンシダ科 Aspleniaceae

分 布 域 本州(新潟・岐阜県以西),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・大分・鹿児島)

生育環境 | 丘陵地のやや湿った林内や林縁の岩上に着生。

カテゴリー

大分県 IB 環境庁 掲載なし 現

生育地では群生しているが, 県道に隣接しているため, 改変されるお

それがある。

考 備

日本固有種。

シモツケヌリトラノオ

Asplenium normale D.Don var. boreale Ohwi ex Kurata

選定理由

九州では熊本・大分・宮崎だけに分布する。本県の生育地では県道拡幅 工事により,個体数が少なくなり,絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布

石灰岩地域

チャセンシダ科 Aspleniaceae

本州(関東地方北部・伊豆半島以西),四国,九州(熊本・大分・宮崎)

中国南西部、ヒマラヤ

カテゴリー

大分県 IA 環境庁 掲載なし 生育環境

丘陵地の石灰岩壁の割れ目。

現 確認されている生育地は極めて狭く、生育環境が悪化している。